Department of Clothing

Japan Women's University



被服学科学生による撮影編集

日本女子大学 家政学部 被服学科

被服を総合的に学ぶカリキュラムを提供

被服とは、からだに着用するもの全般です。被服の目的や役割には身体の秘匿、保護、装飾、身体機能の拡張、身分や職業の表示など、様々なものがあります。

被服学とは、このような目的や役割を持つ被服を科学的に探求する学問です。科学的に探求するとは、再現性も担保しながら、対象とする事柄をできるだけ論理的、合理的、実証的、体系的に探求することです。

本学の被服学科では自然科学、人文科学、社会科学の視点や手法を用いて被服学を科学的に探求します。自然科学分野では衣材料関係科目、衣造形関係科目、衣環境関係科目、整理・染色関係科目が開講されています。人文科学分野では主に服飾史・美学関係科目が、社会科学分野では主に消費関係科目が開講されています。これらには、講義科目に対応する実験・実習科目や、実技を伴う演習科目も含まれます。



被服学科紹介
Movie

将来の目標実現のためのコースを導入

被服学科では、皆さんの学修への多様な興味に対応できる柔軟なカリキュラム編成を行っています。また、３つのコースを設定しており、それぞれのねらいに応じて、履修することが望ましい科目を示しています。このコース制に沿って材料、造形、衣環境、整理・染色、流通・消費、文化・美学といった分野を総合的に学ぶとともに、３つのコースそれぞれに対応した授業を段階を追って選択することで、自分が興味関心を持つ分野の知識や技術を効率よく修得できます。

ファッションサイエンスコース



主に、衣服、繊維、素材の物理的、化学的な特性や衣服の流通・消費を学ぶコースです。

ファッションデザインコース



主に、安全、快適、機能的で審美性にも優れた衣服を科学的に設計する手法を学ぶコースです。

ファッションアートコース



主に、衣服や服飾を歴史、文化、美学の観点から学ぶコースです。

カリキュラム
について

多彩なカリキュラムで資格取得をサポート

資格取得に必要な科目の単位を修得することにより、卒業時にそれぞれの資格が授与されます。また、いくつかの学科科目を履修すると、関連資格に必要とされる知識を得ることができます。

取得できる資格（任用資格を含む）

衣料管理士(一級)、
中学校・高等学校教諭一種免許状(家庭)、
学校図書館司書教諭、司書、
博物館学芸員、
社会福祉主事、日本語教師

衣料管理士
について

関連資格

繊維製品品質管理士(TES)、
色彩検定、
パターンメーキング技術検定など

被服学科の４年間

１年次
幅広く被服を学び基礎力を養う

２年次
専門科目を選択履修し自らの方向性を探る

３年次
所属ゼミを決定し、応用力を養う

４年次
4年間の学びを卒業論文にまとめる



1年次　基礎実験・実習



3年次　衣材料学実験III



4年次　卒業論文

卒業後の進路

被服学科の大部分の学生は就職を希望します。本学科の学生は社会からも高い評価を受けているため、特別な事情がない限り就職率はほぼ100％です。 アパレル、繊維、教育、研究など、さまざまな分野で活躍しています。

近年の主な進路一覧

【就職】
アパレル関連：オンワードコーポレートデザイン、エルメスジャポン、クリスチャンディオール合同会社、しまむら、トンボ、ファーストリテイリング、ベイクルーズ、マッシュスタイルラボ
百貨店・総合小売：セブン-イレブン・ジャパン、高島屋、 丸井グループ、良品計画
繊維・副資材メーカー・衣服等卸売業：福助、豊島、三井物産アイ・ファッション、YKK
繊維検査・試験業：カケンテストセンター、ケケン試験認証センター、日本繊維製品品質技術センター
公務員：埼玉県、千葉県、東京都、東京都公立中学校・高等学校、横浜市公立中学校
その他：四季、集英社、宝塚舞台、TOPPAN、日本銀行、パナソニック、ブライダルプロデュース

【進学】
日本女子大学大学院、千葉大学大学院　など

被服学科奨学金（表彰制度）～被服学科賞～

本学では様々な学内奨学金（表彰制度）が設けられています。その中でも被服学科では学業人物優秀者ならびに繊維製品品質管理士合格者へ被服学科賞を授与しています。また、2023年度より繊維製品品質管理士資格取得を応援するべく、被服学科の学生を対象に繊維製品品質管理士受験応援金の給付制度を開始しました。

被服学科入学者対象奨学金

被服学科入学者対象奨学金は日本女子大学被服学科の勉学を奨励することを目的として、総合型選抜において優秀な成績で入学した被服学科の学生１名に対し、入学金相当（20万円）を入学後に給付するものです。詳細は本学HPより『総合型選抜 募集要項』をご確認ください。

学内奨学金（表彰制度）について

総合型選抜について

被服学科
教員・研究室紹介

9 professors and laboratories in the Department of Clothing



服飾美学研究室

内村 理奈

researchmap

西洋服飾文化史を研究。主にヨーロッパの宮廷や社交界にみられるファッションのエチケットの社会的意味について、同時代の文献（作法書、雑誌、文学作品等）や絵画などの資料を駆使して読み解いている。

【卒論テーマ】

- 第二帝政期パリ・モードにおける皇妃ウージェニーの影響
- ミニスカートの流行と身体観-アメリカ版VOGUEからの考察-



被服整理学
・染色加工学研究室

榎本 一郎

researchmap

衣服の洗濯や染色加工におけるファインバブル水の活用に関する研究を行う。また高強度繊維の表面改質による一般衣料への適用に関する研究も進めていく。

【卒論テーマ】

- ファインバブル水の利用による家庭洗濯の改善
- 超高分子量ポリエチレン繊維への親水性加工
- 植物抽出成分の分析に基づく絹の染色



被服人間工学研究室

田平 博嗣

researchmap

人間工学や感性工学の方法を用いて人の姿勢・動作、生理、感覚・知覚、感性などの人間特性を計測し、被服の設計や評価に応用する研究を行っている。

【卒論テーマ】

- 『冬の女の子』の魅力はどこからくるのか？～ベビーシェマ理論に基づく鼻先の赤みと被服による遮蔽が庇護欲に与える影響～
- 身体意識の高さと身体満足度が装着行動および服装選択に与える影響



材料学研究室

松梨 久仁子

researchmap

衣服の素材である繊維、糸、布地について、物理的特性と実際の衣服や繊維製品において発現する性質との関係を研究している。縫製加工における諸問題の技術的解明にも取り組む。

【卒論テーマ】

- ニット縫合部の触感と客観的評価
- 肌用ふき取り素材の性能評価
- 組紐の製作条件が力学的特性に及ぼす影響



染織文化研究室

森 理恵

researchmap

日本とアジアの服飾や染織についての研究。とくに、「きもの」の前身とされる「小袖」のデザインの移り変わりや「きもの」の近代化について研究を進めている。

【卒論テーマ】

- 『紫式部日記』の服飾表現にみる紫式部の女性観
- ベトナムの民族衣装アオザイにおけるフランスの影響
- 中国雲南省のペー族とナシ族にみる民族衣装の現状



運動環境生理学研究室

小川 哲也

researchmap

ヒトの運動を実現する身体機能と外部環境との関連性について、運動生理学的な観点より調べ、被服の役割について検討する。

【卒論テーマ】

- 着物の着用が上肢の作業に及ぼす影響
- トウシューズ着用によって生じる足関節周りの位置覚への影響
- マスクの着用が息苦しさの主観と呼吸・心拍応答に及ぼす影響



衣環境学研究室

西原 直枝

researchmap

衣服の着心地を科学的なアプローチにより明らかにすることにより、人間の健康・安全かつ快適な生活に貢献する。

【卒論テーマ】

- 暑い環境における冷却衣服や携帯用ファンの熱的快適性評価
- 衣服による温熱適応行動の省エネルギー効果
- 冷え症の女性の体温調節を補助する衣服



消費生活研究室

勝又 淳司

researchmap

消費者の意識や行動、および自然環境にもたらす負荷の観点からファッションビジネスの持続可能性に関する研究を行っている。

【卒論テーマ】

- 衣生活におけるサステナブルな取り組みについて　～リユースとシェアリングを中心に～
- オーガニックコットン製品の意義と普及のための課題



被服構成学研究室

武本 歩未

researchmap

パーソナル対応の衣服設計を目指し、様々な年代、身体条件の人々の体型分析、パターンの研究、バーチャルボディの設計を進めている。

【卒論テーマ】

- 女子大学生の下半身の体型特徴とパンツスーツの適合性　ー体型コンプレックスに着目してー
- 寝衣における快適なゆとり量の検討



被服学科では、３年生で研究室に所属し、研究室でのゼミナールを通して専門分野の知識を深めていきます。４年生ではその知識を発展させ、卒業研究に取り組んでいきます。





研修・課外活動 紹介

ヨーロッパ服飾文化研修

長期休暇にヨーロッパ服飾文化研修を実施しています。近年は定員20名にて約10日間の日程で研修を行っており、引率教員によって行先が変わりますが、フランスやイタリア、イギリスなどその年によって様々な国へ研修に行きます。各国の服飾についてはもちろん、歴史や文化、芸術の豊かさを体験することができます。



FIT交流会



ニューヨーク州立ファッション工科大学(FIT)との交流会を実施しています。交流会では、本学被服学科について英語でプレゼンテーションを行ったり、組紐や水引などの伝統工芸のワークショップを行います。アート、デザイン、テクノロジーの分野を学ぶ学生との情報交換を通じながら、互いの国や文化について理解を深めることができます。

被服学科生有志によるFashion Show

毎年10月に開催される目白祭にて、被服学科生の有志によるFashion Showを実施しています。衣装の製作、メイクだけでなく、テーマの考案から、会場準備と運営、広報などすべて学生主体で活動を行っています。

Instagram：@jwu_fs

https://www.instagram.com/jwu_fs/



お知らせ

被服学科は2028年度よりファッションデザイン学部ファッションデザイン学科（仮称）としてリニューアルします。2027年度入学生までは、卒業まで被服学科生として在籍することになります。卒業まで被服学科の授業は開講されますので、ご安心ください。



https://www.jwu.ac.jp/unv/

@hihuku_jwu

@hihuku.jwu

被服学科企画 来場者アンケート

ご来場いただきありがとうございます。
下記フォームよりアンケートにご協力ください。

https://forms.cloud.microsoft/r/RXfQDvjrSL